

For Immediate Release

Contact:

バークレイズ証券株式会社
広報部 中田 咲
03 4530 5623
emi.nakata@barclays.com

バークレイズ証券、13 件目の再生可能エネルギー プロジェクトボンドを組成

引き続き日本のグリーンファイナンス市場拡大に貢献

東京 2022 年 1 月 18 日 – バークレイズ証券株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:木曾 健太郎)は本日まで、新たに三重県四日市市山田町の太陽光発電事業プロジェクトに対する再生可能エネルギープロジェクトボンドを組成しました。当社がアレンジした再生可能エネルギープロジェクトボンドとしては 2021 年 9 月の発行に続くもので、2017 年からの累計で 13 件となり、これまでの発行総額は 1,065 億円となりました。

本案件は、格付投資情報センター(R&I)より最上位の評価であるグリーンボンド格付 GA1 と、グリーンボンド原則等への適合性に関してセカンドオピニオンを獲得しており、プロジェクトファイナンス形式で発行されたグリーンボンド及びグリーンローンです。またアセットマネージャーであるリニューアブル・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:眞邊 勝仁)にとっては 11 件目のプロジェクトボンド発行(累計 902.5 億円)となりました。

本取引の概要

名称	RJ 再生可能エネルギープロジェクトボンド XI 受益権 /ABL
発行金額	4,000,000,000 円 受益権 (GB): 3,000,000,000 円 ABL (GL): 1,000,000,000 円
発行日	2022/1/18
最終償還日	2040/8/20
受託者	三菱 HC キャピタル信託株式会社

本取引の対象事業

アセットマネージャー	リニューアブル・ジャパン株式会社
所在地	三重県四日市市山田町
事業規模	10.5 MW(モジュール規模)
年間 CO2 排出削減量	約 5,341 トン

バークレイズについて

バークレイズは、英国を本拠とするユニバーサル・バンク(総合的な金融機関)です。多様なビジネスとさまざまな種類の顧客を持ち、世界各地でビジネスを展開しています。世界中で個人向け銀行業務や各種支払いサービスを提供するほか、フルサービスの法人向け銀行業務および投資銀行業務を提供する世界有数の金融機関です。これらバークレイズのビジネスはすべて、テクノロジー、オペレーション、事務管理などのサービスをグループ全体に提供するサービスカンパニーによって支えられています。